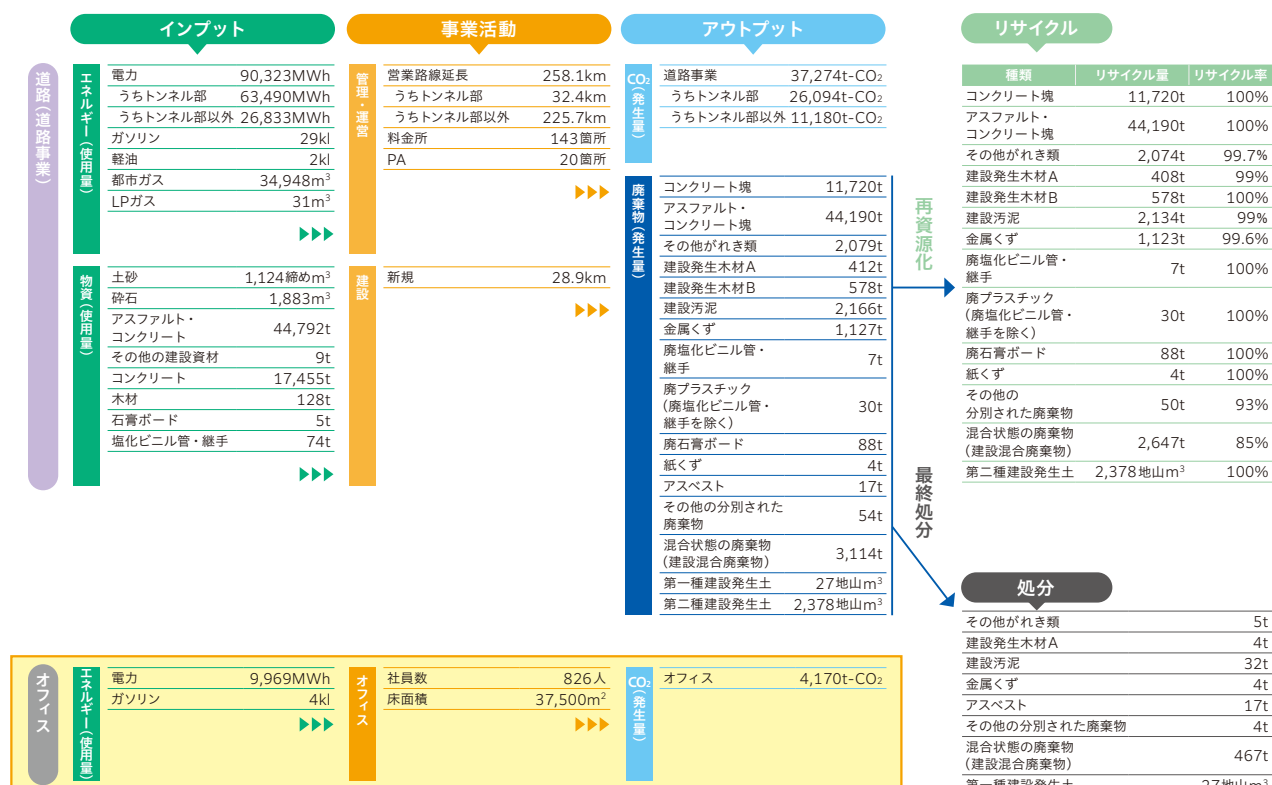


循環型社会の形成

限りある資源を有効に活用し、環境負荷を低減させるため、より付加価値の高い再生材の利用方法に着目し、建設副産物をはじめとする廃棄物の3R（Reduce（発生抑制）・Reuse（再使用）・Recycle（再生利用））に取り組んでいます。また、グリーン購入法に沿った調達方針を定め、環境負荷の少ない資材の調達を推進し、調達可能な事務用品については、グリーン調達率100%を目指しています。

〈マテリアルフロー図 阪神高速道路(株)単体 2025年度〉



※ 当社事業で使用するエネルギー物資の入手から、リサイクル・処分までの流れを示しています。

パーキングエリアにおける廃棄物削減

阪神高速グループでは、パーキングエリアの運営を通じて循環型社会の実現に貢献すべく、フードロス削減に向けた多角的なアプローチを推進しています。例えば、売店においては、賞味期限が近い商品を対象とした割引販売を行うほか、陳列棚の手前から商品を選んでいただく「てまえどり」を推奨するPOPを設置し、お客さまのご協力をいただきながら、廃棄物を削減する活動を展開しています。また、レストランなどの飲食店舗から排出される廃食用油については、すべてリサイクル処理を行うよう徹底しています。今後も環境に配慮したパーキングエリアの運営を通じて、循環型社会の実現に貢献していきます。



「てまえどり」POP